

本稿は、バークレイズ・グループが 2012 年 12 月 12 日に発表した英文リリースの日本語訳です。その正確な内容につきましては、原文である英文リリースをご参照ください。本稿と原文において齟齬がある場合には原文が優先します。リリース原文は <http://group.barclays.com/news/news-article/1329927766649> にてご覧いただけます。

2012 年 12 月 12 日

### **バークレイズ、ヘクター・サンツ氏を コンプライアンスおよび政府・当局渉外部門統括責任者に任命**

バークレイズはこのたび、新設したコンプライアンスおよび政府・当局渉外部門の統括責任者にヘクター・サンツ(Hector Sants)氏を任命しました。サンツ氏はバークレイズのグループ経営委員会メンバーに就任するとともに、グループ最高責任者であるアントニー・ジェンキンスの直属となります。

サンツ氏はバークレイズがビジネスを展開する全地域における、グループの全てのコンプライアンス業務を統括します。従来と異なり、ビジネスおよび地域のマネージメント・チームから独立し、グループのすべてのコンプライアンス担当者がサンツ氏一人の傘下に入ることになり、グループのコンプライアンス体制が大きく改革されることになりました。

サンツ氏は、バークレイズ・ピーエルシー取締役会で承認された独自の枠組みに従ったコンプライアンスが機能すること、そして、全ての従業員が、グループが重んじる目標、価値観、文化、ならびにバークレイズが事業展開を行う地域の法規制を遵守していることに関し、グループ最高責任者に責任を持ちます。

また、世界の政府および規制当局とバークレイズとの関係の構築・維持を担当します。サンツ氏は、2013 年 1 月 21 日に同職に就任する予定です。

グループ最高責任者であるアントニー・ジェンキンスは次のように述べています。「すべてのステークホルダーの『Go-To Bank(選ばれる銀行)』になるというグループ目標を掲げた際に、私は目標実現のため、社内変革が重要であることを強調しました。グループの従業員が真摯に業務を推進するというのが、このような文化の中核を成すことは当然ですが、管理と世界第一級のコンプライアンス機能といった副次的な手段を講じることを通じて、これを強化することが重要だと思えます。

上級職の新設、および構造的・組織的な変革を通して、私は次の 2 つに取り組みます。第 1 に、世界級のコンプライアンスが有効に機能する環境を整えること、第 2 に、コンプライアンスが全地域で受け入れられ、法令を順守する企業文化の確立に向けた、私自身の決意を明確に示すことです。

世界の規制当局および政府との関係もバークレイズにとって極めて重要です。経営陣からこれらの分野に改めて取り組み、可能な限り建設的、生産的な関係を構築する必要があります。

民間および公的部門での豊富な経験や、直近まで世界有数の規制当局を率いてきた実績を踏まえると、こうした課題に取り組むにあたり、ヘクター・サンツ氏以上に適任の人材はいないと思えます。『Go-To Bank』になるというバークレイズの目標実現に向け、サンツ氏が私たち経営陣に加わることを快諾してくれたことを喜ばしく思います」。

ヘクター・サンツ氏は次のように述べています。「民間、公的部門双方で培った経験を現場で活かす役割を求め、英金融サービス機構を退職することにしました。バークレイズのコンプライアンス機能をグローバルに統率し、政府および規制当局との関係を監督する責務を担うことで、こうした機会が与えられました。既にバークレイズが歩み始めている、グループの企業文化の変革の中心となるであろう、新しいコンプライアンスの概念の創造と実践をジェンキンス氏から要請されたことを嬉しく思います」。

## ヘクター・サンツ氏の略歴

現在 56 歳。既婚、3 人の子弟。

### キャリア:

- 1977 – 87: 株式会社ブローカーフィリップス & ドリュー (Phillips & Drew) 社パートナー
- 1987 – 88: UBS (ニューヨーク) 海外証券部門統括責任者
- 1988 UBS 調査部門統括責任者
- 1988 – 98: 同 株式部門統括責任者及び副会長
- 1998 – 2000: ドナルドソン＝ラフキン・シャネット・インターナショナル・セキュリティーズ (Donaldson, Lufkin and Jenrette International Securities) 会長兼同社国際 (除米国) 株式部門長
- 2000 – 01: (ドナルドソン＝ラフキン・シャネットとクレディ・スイス・ファースト・ボストンの合併を機に) クレディ・スイス・ファースト・ボストン海外株式部門統括責任者および副会長
- 2001 – 2004 クレディ・スイス・ファースト・ボストン ヨーロッパ・中東・アフリカ、最高経営責任者
- 2004 – 2007: 英国金融サービス機構 (FSA) ホールセール及び機関投資家市場担当マネージング・ディレクター
- 2007 – 2012 年 6 月: FSA 最高責任者 (CEO)
- 2010: イングランド銀行特命副総裁及び英国プルーデンス規制機構特命 CEO に就任  
また同年、イングランド銀行金融安定委員会 (FPC) 委員にも就任する。

### その他社外役職:

- 1993 – 99: 英国証券先物業協会会員
- 1996 – 99: EASDAQ 取締役会メンバー
- 1996 – 2000: 公認受託者事務所アドバイザー
- 1997 – 01: ロンドン証券取引所取締役会メンバー
- 2001 – 03: NASDAQ 欧州取締役会メンバー
- 2001 – 04: FSA 実務者委員会メンバー
- 2003 – 04: LCH クリアーネット委員会メンバー
- 2004 – 07: 財務報告評議会メンバー
- 2002 – 07: ナフィールド整形外科センター NHS 評議会メンバー
- 2007 – 現在: オックスフォード大学サイド・ビジネス・スクール諮問委員会会長

本件に関するお問い合わせ先:

**Investor Relations**  
Charlie Rozes  
+44 (0) 20 7116 5752

**Media Relations**  
Giles Croot  
+44 (0) 20 7116 6132

## バークレイズについて

バークレイズは世界で事業を展開し、お客様に貸付、投資、資産保護のサービスを提供しています。バンキング事業では 300 年以上の歴史と卓越した専門性を有しており、世界 50 カ国以上で展開し、140,000 人以上の従業員を擁しています。

バークレイズは世界の大手事業法人、政府、金融機関のお客様にニーズに応じた戦略的アドバイス、資金調達およびリスク管理に関するフルレンジのサービスを提供しています。お客様にはバークレイズ・グループ全体に幅広くわたる、金融に関する専門性をお届けしています。また、世界最大規模の金融サービス機関として、リテール・バンキング、クレジットカード、コーポレート・バンキング、ウェルスおよびインベストメント・マネジメントの事業も展開しています。

バークレイズ・グループは、バークレイズ・バンク・ピーエルシーを通じ、世界トップクラスの投資銀行サービスと金融商品をお客様に提供しています。詳細につきましては、グループのウェブサイト [www.barclays.com](http://www.barclays.com) をご参照ください。